

安全データシート

IonoPlus IME-IN

1 製品および会社情報

1.1 製品の識別

イオプラス

・製品名： IonoPlus IME-IN

・製品コード： A101602

1.2 適切な使用方法と禁止された使用法に対する忠告 —

・製品用途： 工業用

・使用方法に対する忠告： ゲーム機/玩具,オナホ,燃料（推奨しない用途）

1.3 安全データシートの供給元詳細

国内販売元 株式会社keg

住所 〒612-0029

電話番号 (075) 643-3201

FAX番号 (075) 641-3961

E-Mail keg-kyoto@keg-kyoto.co.jp

緊急連絡先 (075) 643-3201

製造元 (ドイツ) Oelheld GmbH

住所 Ulmer Str.135-139
70188 Stuttgart Germany

電話番号 +49-(0)711-16863-0

FAX番号 +49-(0)711-16863-3500

E-Mail msds@oelheld.de (in German or English)

緊急連絡先 Dr. Schnödt Tel. +49 71 11 68 63-997

(in German or English) Mr Philipp Storr Tel. +49 71 11 68 63-992

Mr Martin Storr Tel. +49 71 11 68 63-993

Mr Speth Tel. +49 71 11 68 63-994

Mr Philipp Storr Tel. +49 71 11 68 63-996

2 危険有害性の要約

2-1 GHS分類 (規則(EC) No 1272/2008 により分類)

急性毒性(経口) : 区分外

急性毒性(経皮) : 区分外

急性毒性(吸入) : 区分外

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分外

特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分外

特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分外

誤えん有害性 : 区分1

水生環境有害性(急性) : 区分外

水生環境有害性(長期間) : 区分外

Asp.Tox. 1 H304 飲み込んだり気道に侵入すると生命に危険の恐れあり

2-2 ラベル要素

規則(EC) No 1272/2008 により分類

同製品はCLP規則に従って厳密に分類とラベル表示される

・ 危険性を示すラベル表示



GHS08

・ 消防法 危険物第4類 第3石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ

・ 危険喚起語 危険

安全データシート

- 危険性決定要素

水素処理軽質留出物

ルマルパ°ラフィンC5-20

アルカノ,C11-15-イ-
- 危険有害性情報

H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

P301+P310 万一飲み込んだ場合：直ちに医療機関に連絡する事

P331 無理に吐かせないこと

P405 施錠して保管すること

P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3 組成および成分情報

- 3.2化学的特性
- 混合物
- 名状

以下の成分と無害な添加剤の混合物

危険物質表示			
64742-47-8	水素化処理軽質流出物（石油）	Asp. Tox.1.H304;可燃性液体4,H227	25-50 %
64771-72-8	ルマルパ°ラフィンC5-20	Asp. Tox.1.H304;Acute Tox5,H313	
90622-58-5	アルカノ,C11-15-イ-	Asp. Tox.1.H304;可燃性液体4,H227	25-50 %
64742-46-7	石油、水素化処理中間体	Asp. Tox.1.H304;Acute Tox5,H313	
72623-83-7	流動パ°ラフィン	Acute Tox5,H313	

- 情報

注釈L：IP346「未使用潤滑油およびアスファルトを含まない石油留分中の多環芳香族化合物の測定-ジメチルスルホド抽出屈折率法」（JDTON石油協会）による測定で、物質に含まれるDMSO抽出物の含有量が3%未満であることが証明される場合、発がん性物質として分類されない。
この注釈は附属書VIに記載されている特定の複合石油由来物質にのみ適用される。
- 追加情報

記載されたリスクフレーズの文言についてはセクション16を参照すること
制限値が設定されている物質については、第8項「暴露管理/個人保護」を参照すること

4 応急処置

- 4.1応急処置に関する記述
- 一般的な処置

製品による衣服の汚れを除去し、症状発生の疑いがある場合には医師に相談する
医師の診断を受ける場合、このSDSを提示すること

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移して安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける

皮膚に付着した場合

ただちに多量の水及び石鹸で洗い、よく濯ぐこと

目に入った場合

清浄な流水で数分洗眼する。症状が持続する場合、医師の診断を受ける

飲み込んだ場合

無理に吐かせず、すぐに救急車を呼ぶ事
- 4.2重篤な症状・影響（急性・慢性） 関連情報なし
- 4.3治療時の医学的配慮や特別な治療について 関連情報なし

5 火災時の措置

- 5.1消火剤
- 適正な消化剤

CO2,パ°ウァー, ウォータースプレー, 火が大きい際は耐アルコール泡消火器等

安全データシート

IonoPlus IME-IN

- ・ 不適切な消火剤 ウォータージェットの使用は火災を拡大し危険な場合がある
- 5.2火災時の特定危険有害性 特定の火災条件下において一酸化炭素などの有毒ガスが発生する恐れがある。
- 5.3消火時の注意 自給式呼吸器及び完全防火服を着用する
- ・ 保全準備 危険にさらされている容器をウォータースプレーで冷やす
- ・ 追加項目 消火物や消火剤の付着した廃棄物は、公的な規定に従って処理する事

6 漏出時の措置

- 6.1対人に対する注意事項、緊急事態における対処の手順
十分な通気性を確保する、漏出した油剤で滑る危険性がある
- 6.2環境に対する注意事項 下水道や土壌に流出しないようにする
使用した洗浄水は適切に処分する
- 6.3製品を廃棄する方法と媒体 液体と結合して吸い取る性質のある物（砂、珪藻土、酸結合剤、結合剤全般、おがくずなど）を使用し、第13章に従って廃棄する事
水の表面に浮いた物も取り除く(上澄みをすくう、濾すなど)
- 6.4その他の参考情報 7章の安全な取扱を確認
8章の人体を保護するための装備を確認
13章の処分の方法を確認

7 取扱い及び保管上の注意

- 7.1取扱注意事項 十分な換気を確保する
容器の開封と取り扱いに気を付ける
- ・ 火災や爆発の防止 ミストは空気と混合して、引火点を超えると爆発性混合物を形成する可能性がある。
- 7.2安全な保管条件
- ・ 保管：
- ・ 条件を満たす倉庫と容器 弊社のリジナル容器で保管する事
- ・ 共通の保管施設での保管 必須ではない
- ・ 保管状態の詳細 密封容器で涼しく乾燥した場所で、熱、直射日光、紫外線を避ける事
上記条件下での貯蔵安定性：24か月
- 7.3特定のインターガーに向けて 関連情報なし

8 暴露防止及び保護措置

- ・ 技術設備の設計 関連情報なし 7章を参照
- 8.1制御機器
- ・ 現場をモニタリングする必要性： 推奨暴露限界値(オイルミスト):TWA5mg/m³,STEL10mg/m³(ACGIH)
- 8.2露出の制限
- ・ 個人の保護具
- ・ 工場全体の保護と衛生措置 化学物質を取り扱う際には、通常の予防措置を遵守する必要がある
休憩や退社の前によく手を洗うこと。
長時間にわたる皮膚との接触を避けること
通気が不十分な場合は適切な呼吸保護具を使用すること。
- ・ 手の保護 手袋をはめるか、クリームなどを良く塗る
- ・ 手袋の素材 ニトリル, NBR
- ・ 手袋の素材への浸透 メーカーによると厚さ0.4mm以上のEN374製保護手袋で480分以内が
化学品やそれに類する物が浸透、通過しない値である

安全データシート

(EN374劣化評価クラス6対象)但し上記は実験室での試験結果に基づいたもので、IME-IN
実際の作業環境によるものではなく、最終ユーザーの責任の下で最も適切な
手袋を選択する事
充填中はゴ-グル装着を推奨する
適切な作業着を着用する

・ 眼の保護

・ 身体の保護

9 物理的及び化学的性質

9.1基本の物理的、化学的特性について

- ・ 一般情報

・ 物理的状态

・ 形状：液体

・ 色：蛍光グリーン

・ 臭い：特徴的

・ ph-値：非該当

・ 状態変化

溶解点/氷結点未測定

初期沸点と沸騰範囲未測定

・ 引火点101℃

・ 可燃性非該当

・ 自然着火温度：データなし

・ 分解温度：データなし

・ 自動着火温度：>220℃

・ 起爆性製品自体は爆発しないが、引火点を超える空気や蒸気が混入するか
もしくは強力なミストが発生した場合は爆発する可能性がある

・ 爆発限界

下限：0.5Vol%

上限：7.0Vol%

・ 蒸気圧：データなし

・ 密度（15℃）0.778g/cm³(6.492lbs/gal)

・ 相対密度：データなし

・ 水に対する溶解性溶解しないか溶解しにくい

・ 分配係数：オクタノール/水分データなし

・ 粘度：動粘度：40℃での動性粘度2.3mm²/s

・ 溶剤の含有量VOC(EC)：-45%

9.2その他の情報

- 追加情報爆発限界のデータはP-スタイルに基づく
- ・ 粒子特性：非該当

・ 状態液体

10 安定性及び反応性

- 10.1反応性
- 関連情報なし

安全データシート

10.2化学特性

- ・ 熱分解 通常の取り扱いにおいて分解しない

10.3危険反応の可能性

危険反応なし

10.4避難条件

前述を確認

10.5不適合な物質

強力な酸化剤

10.6有害な分解生成物

有害な分解生成物無し

11 危険有害性情報

11.1有害性の影響に関する情報 規則（EC）No.1272/2008で定義されている危険等級に関する情報

- ・ 急性毒性 既存のデータによると急性な毒性の基準にはあてはまらない
- ・ LD/LC50の値による分類
ATE mix:

64742-47-8 水素化処理軽質流出物（石油）

経口	LD50	> 5,001mg/kg(ラット)(OECD401)
経皮	LD50	> 5,001mg/kg(ラット)(OECD402)
吸入	LC50/4hr	> 5,001mg/kg(ラット)(OECD403)

64742-46-7 ルルル°ラインC5-20

経口	LD50	> 5,000mg/kg(ラット)(OECD401)
経皮	LD50	> 2,000mg/kg(ラット)(OECD402)

- ・ 皮膚腐食性/皮膚刺激性 既存データに該当する結果なし
- ・ 眼に対する重篤な損傷性 既存データに該当する結果なし
/刺激性
- ・ 呼吸器又は皮膚感作性 既存データに該当する結果なし
- ・ 生殖細胞変異原性 既存データに該当する結果なし
- ・ 発癌性 既存データに該当する結果なし
- ・ 生殖毒性 既存データに該当する結果なし
- ・ 特定標的臓器毒性（単回） 既存データに該当する結果なし
- ・ 特定標的臓器毒性（反復） 既存データに該当する結果なし
- ・ 吸引による危険性 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

12 環境に対する影響

12.1毒性

- ・ 水生毒性

64742-47-8 水素化処理軽質流出物（石油）

LL0/96h	1,000mg/l(魚類)
NOELR/72hr	1,000mg/l(藻類)
EL0/48h	1,000mg/l(海洋無脊椎動物類)
EL0/72h	1,000mg/l(藻類)

64742-46-7 ルルル°ラインC5-20

NOEC/21d	> 1,000mg/l (オミジツ) ((Q) SAR)
NOEC/28d	> 1,000mg/l (ニジマス) ((Q) SAR)
LC50/48hr	> 1,000mg/l (オミジツ) (OECD202)
LC50/96hr	> 1,000mg/l (イシヅメ) (OECD203)
EC50/72hr	> 3,200mg/l (スケルトン・コスタム(藻類)) (ISO10253)

安全データシート

IonoPlus IME-IN

- 慢性毒性

64742-47-8 水素化処理軽質流出物（石油）

NOELR/21d 1mg/l（海洋無脊椎動物）

12.2 継続的分解性 関連情報なし

12.3 生体内蓄積能 関連情報なし

12.4 土壌移動性 関連情報なし

- 生態毒性による影響：
- 下水処理場における扱い 同製品は機械的な分離が可能である
- 注意点 製品を地下水や下水道に放出してはならない
- 追加情報 追加情報なし

13 廃棄上の注意

13.1 水処理の方法

- 推奨 公的な許可を得た廃油処理業者によって回収させる
内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。
事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処理をすること。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

14.1 UN-Number(国連番号)

- ADR, ADN, IMDG, IATA : 無

14.2 UN proper shipping name

- ADR, ADN, IMDG, IATA : 無

14.3 Transport hazard class(es)

- ADR
- Class : 無
- Label : 無
- ADN/R Class: : 無

14.4 Packing group

- ADR, IMDG, IATA : 無

14.5 Environmental hazards : 適用外

14.6 Special precautions for user : 適用外

14.7 Transport in bulk according to Annex II of Marpol and the IBC Code : 適用外

- Transport/Additional information : 無
- ADR
- Excepted quantities (EQ) : 無
- Limited quantities (LQ) : 無
- Transport category : 無
- Tunnel restriction code : 無
- IMDG
- Limited quantities (LQ) : 無
- Transport category : 無

安全データシート

- ・ IATA
- ・ Remarks : 無
- ・ UN "Model Regulation" : 無

15 適用法令

15.1 安全, 健康, 環境に関する法令/特に本製品に関する法令

- ・ ラベル表示 規則(EC) No 1272/2008 により分類
製品はCLP規則に従って分類とラベル表示される。



GHS08

- ・ 消防法 危険物第4類 第3石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ
- ・ 危険喚起語 危険
- ・ 危険性決定要素 水素処理軽質留出物, アルパ ラフィンC5-20, アルカ, C11-15-イ-
- ・ 危険有害性情報 H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
P301+P310 万一飲み込んだ場合：すぐにPOISON CENTERの医師に電話する事
P331 無理に吐かせないこと
P405 施錠して保管すること
P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
- ・ 追加情報 EUH066繰り返しの使用で皮膚が乾燥または荒れる原因となる廃棄物処理業者に委託し処分すること。
- ・ PRTR法 非該当
- ・ 労働安全衛生法 非該当
- ・ 毒物・劇物取締法 非該当
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 産業廃棄物規則(拡散、流出の禁止)
- ・ 化学物質排出把握管理促進法 非該当
- ・ 水質汚濁防止法 非該当
- ・ 下水道法 鉱油類排出規制
- ・ 悪臭防止法 非該当
- ・ 海洋汚染防止法 油分排出規制(原則禁止)
- ・ 道路法 危険物に該当しない
- ・ 船舶安全法、危険物 船舶運送及び貯蔵規制 危険物に該当しない
- ・ 航空法 危険物に該当しない
- ・ 指令2012/18/EU 空欄
- ・ ANNEX Iに規定される成分 指定されている成分は含まれていない
- ・ ANNEX XVIIの規定 (EC)No 1907/2006 制約条件：3
- ・ 国際法規：
- ・ 事故規定： 本製品は危険物による事故条例にはあてはまらない

安全データシート

IonoPlus IME-IN

16 その他の情報

この情報は現在の私達が知り得る限りの情報である。然しながら、特定の製品の性能を保証するものではなく、法的な有効性も有していない。

- 関連する語句
 - H227 可燃性液体
 - H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険の恐れ
 - H313 皮膚に接触すると有害の恐れ
- SDSに関する問い合わせ 調査 & 開発部
- 略語とニナル解説 : REACH:Registration,Evaluation andAuthorisation of Chemicals
 - EC:European community
 - NLP:no longer polymers
 - ENIECS:European Inventory of Existing Commercial chemical Substance
 - ELINCS:Auopean List of Notifired Chemical Substance
 - CAS:Chemical Abstracts Service(division of the American Chemical Society)
 - WEL:Workime Exposure Limit
 - TWA:Time Time Weighted Average concentration
 - STEL:Short Time Exposure Limit
 - OEL:Occupational Exposure Limit
 - OEL(EU):Occupational Exposure Limit of the European Union
 - TLV:Threshold limit value
 - TWA:Time Weighted Average concentration
 - STEL:Short Time Exposure Limit
 - IOEL V:Indicative Occupational Exposure Limit Value
 - WEL:Worktime Exposure Limit
 - ACGIH:American Conference of Governmental Industrial Hygienists
 - DNEL:Derived No-Effect Level(REACH)
 - EC50:ecotoxic concentration,50percent
 - NOEC:no observed effect concentrations
 - NOELR:No observed effect loading rate
 - ATE:acute toxicity estimate
 - LC50:Lethal concentration,50percent
 - LD50:Lethal dose,50percent
 - VOC:Volatile Organic Compounds(USA,EC)
 - ADR:Accord europeen sur le transport des machandises Dangereuses par Route
(European Agreement concerning the international Carriage of Dangerous goods by Road)
 - IMDG:International Maritime Code for Dangerous Goods
 - IATA:International Air Transport Association
 - Asp.Tox.1:Aspiration hazard-Category 1
 - JIS:Japanes Industrial Standards: Z 7252 2019
 - JIS:Japanes Industrial Standards: Z 7253 2019